

発行所

株式会社FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678

編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

◆ サラリーマンの平均給与は2年連続の減少

Q : 平成11年分の民間給与の実態調査の結果が取りまとめられたそうですが、どのような傾向でしょうか。

A : サラリーマンの年間平均給与は、昨年につき2年連続の減少となっています。

【解説】

国税庁はこのほど、平成11年分民間給与の実態調査結果を発表しました。

それによると、1年を通じて勤務した給与所得者数は4,498万人（対前年△1.0%、46万人の減少）で、給与所得者数が減少したのは国税庁が昭和24年に調査を開始して以来初めてのことです。男女別では、男性2,839万人

（同△1.3%、37万人の減少）、女性1,660万人（同△0.6%、10万人の減少）となっています。

給与所得者1人当たりの平均給与は461万円（同△0.8%、3.5万円の減少）で、平均給与のマイナスは2年連続です。男女別にみると、男性が567万円（同△0.8%、5万円の減少）、女性は280万円（同△0.0%、横ばい）となっています。男女格差は前年より4.5万円減って287万円となりました。

平均給与の内訳は、給料が380万円、賞与が82万円で、前年に比べ給料は3万円の増加、賞与は7万円の減少となっています。

また、給与所得者の給与階級別分布をみると、男性では年間給与額400万円超500万円以下の者が517万人（構成比18.2%）、女性では200万円超300万円以下の者が420万人（構成比25.3%）と最も多くなっています。

